

2022年8月22日  
株式会社フィスコ (3807 グロース)

**「機関投資家&アナリスト 企業調査レポートアワード」2022年  
～評価項目は ESG、CSR、ビジネスモデル、成長性、社員満足度など～**

株式会社フィスコ(グロース上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下「フィスコ」)は、フィスコ企業調査レポート(<https://www.fisco.co.jp/service/report.html>)を活用した企業の表彰制度「機関投資家&アナリスト 企業調査レポートアワード」の2021年版を発表いたしました。

評価項目は、フィスコがアナリストの中から選出した審査員から希望が多かったESG、CSR、ビジネスモデル、成長性、社員満足度、企業価値の伸び率に絞り、当該審査員に2021年1年間にリリースされたフィスコ企業調査レポートの中から各評価項目の各々上位5社を選出してもらっています。なお、審査員が全会一致で1社を1位に選出した場合、最高得点数は50点となります。

■ESG(環境・社会・ガバナンス)

1位	昭和産業<2004>	20点
2位	ダイキアクシス<4245>	13点
2位	エヌ・シー・エヌ<7057>	13点
4位	いちご<2337>	11点
4位	エスプール<2471>	11点
5位	サカタインクス<4633>	7点

1位は昭和産業。「穀物ソリューション・カンパニー」として原材料・資材・容器包材等の調達の際には材質や加工工程等に配慮している点、鹿島工場の燃料転換工事を通じてCO2排出量削減に取り組んでいる点が評価されました。2位のダイキアクシスは水処理メーカーやバイオディーゼル燃料メーカーなど多様な観点から環境に貢献しているほか、定格出力50kWの風力発電機を新たに開発し、太陽光発電と並ぶ電源として普及させることへ取り組んでいる点を評価する声がありました。エヌ・シー・エヌは前回に続き高い木構造技術へ期待する声が聞かれました。

■CSR(企業の社会的責任)

1位	TKP<3479>	13点
1位	サンワテクノス<8137>	13点
3位	ナガイレーベン<7447>	7点
3位	ブリッジインターナショナル<7039>	7点
3位	CRGホールディングス<7041>	7点
3位	NECキャピタルソリューション<8793>	7点

1位はTKP。運営する会議室を宮城県の「抗体カクテル療法センター」として提供し、新型コロナウイルスと闘う社会に貢献する活動が評価に繋がりました。2位のサンワテクノスは、AED(自動体外式除細動器)の拡販活動や講習会の実施を通じて取扱い・指導が可能な社員を増やし、AEDによる救急救命法の普及に尽力している点が

評価されました。3位のナガイレーベンは、新型コロナ感染防護衣を厚生労働省に 60 万枚納入し、経済産業省から感謝状を受けた実績がランクインする理由に挙げられました。

**■ビジネスモデル**

1 位	神戸物産 < 3 0 3 8 >	1 8 点
2 位	サーキュレーション < 7 3 7 9 >	1 3 点
2 位	バイク王 & カンパニー < 3 3 7 7 >	1 3 点
4 位	フォースタートアップス < 7 0 8 9 >	1 1 点
5 位	マネジメントソリューションズ < 7 0 3 3 >	7 点
5 位	ベネフィット・ワン < 2 4 1 2 >	7 点

1位は前回に続き神戸物産。企画から製造、販売までを垂直統合したSPAビジネスモデルにより、店舗数が増えるほどPB商品の生産効率が高まり、利益率も高まる点などが引き続き評価されました。また、既存店売上の2ヶ月前年比増収が続いている実績を評価する声も多くありました。2位のサーキュレーションは外部プロ人材の経験・知見を複数企業でシェアし、経営課題を解決するプロシエアリング事業を展開。派遣でなくプロジェクト毎の参加のため、高スキル人材を安価に柔軟に利用できる点が強みで、競合も少ない点がビジネスモデルとして秀逸との声がありました。そのほか、新規ビジネスの事業承継サービスに期待する声もありました。

**■成長性**

1 位	ベイスス < 4 0 6 8 >	1 3 点
1 位	ピー・ビーシステムズ < 4 4 4 7 >	1 3 点
1 位	テックポイント・インク < 6 6 9 7 >	1 3 点
4 位	ケアネット < 2 1 5 0 >	1 1 点
5 位	フェローテックホールディングス < 6 8 9 0 >	1 0 点
6 位	グッドスピード < 7 6 7 6 >	7 点

1位はベイスス。モバイルエンジニアリングサービスが5Gやローカル5Gなどの普及を背景に安定的な成長が期待できる一方、生活・環境インフラなど幅広い分野でスマートメーターを活用したビジネス展開が期待できるIoTエンジニアリングサービスのポテンシャルに注目する声が多く上がりました。テックポイント・インクは、2022年12月期の会社計画が表面上はやや弱く見えるものの、今後を見据えた研究開発費の影響でむしろ先行きの期待感が高まるとの声がありました。また、今期初めての配当を実施予定のほか、今後の成長エンジンとなり得る戦略商品も複数保有しており、今後に期待できるとの声もありました。中古車販売などを展開するグッドスピードは、人気のSUVに特化した魅力的な店づくりで高成長持続への期待の声が聞かれました。

**■社員満足度**

1 位	ギグワークス < 2 3 7 5 >	1 2 点
2 位	アルプス技研 < 4 6 4 1 >	7 点
2 位	フォーバル < 8 2 7 5 >	7 点
2 位	サンワテクノス < 8 1 3 7 >	7 点
2 位	ブリッジインターナショナル < 7 0 3 9 >	7 点

1位は前回もランクインしたギグワークス。年齢や勤続年数を前提とした年功序列的な賃金体系を見直し、若手でも成果に応じて高い報酬が得られる給与システムを採用した日本企業の中では革新的な動きを引き続き評価する声がありました。また、女性管理職を増やす取り組みを積極的に行い、「なでしこ銘柄」に認定された実績も評価されました。アルプス技研は独自システムであるESS(エンジニアサポートシステム)を使い、入社時から継続的にエンジニアのキャリアを支援している姿勢が評価されました。フォーバルとサンワテクノスは「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されたことが評価され、サンワテクノスは2年連続での認定となりました。

#### ■企業価値の伸び率(時価総額)

1位	フォースタートアップス<7089>	263%
2位	壽屋<7809>	221%
3位	シンバイオ製薬<4582>	218%
4位	ジェイリース<7187>	214%
5位	テックポイント・インク<6697>	194%

1位はフォースタートアップス。スタートアップ企業への人材紹介が好調で、2022年3月期の売上高は前期比85%増と大幅増収での着地になりました。フィギュアやプラモデルなどのホビー関連品メーカーである壽屋は、大ヒット人気アニメ「鬼滅の刃」や「呪術廻戦」の関連アイテムが好評を博しました。シンバイオ製薬は、自社によるトレアキシン販売が本格化してきたことで、前期2021年12月期売上高が同2.8倍と拡大。賃料保証が柱のジェイリースは、新型コロナをきっかけとした不動産オーナーのリスク意識の変化により、事業用賃料保証のニーズが高まっていることが業績拡大の追い風となりました。

昨今、コーポレートガバナンスやステュワードシップコードに関する議論が盛んであり、企業IRへの関心が高まっています。今回の表彰制度は短期投資でなく中長期投資を可能にするための環境作り、それを理解する投資家や経営者の増加を図ることを目的としています。

フィスコグループでは現在約300社超のフィスコ企業調査レポートを執筆していますが、新規株式公開する企業数が年々増加するなか、レポート数は今後更に増加してまいります。「機関投資家&アナリスト企業調査レポートアワード」を創設することで、企業の開示姿勢をより良い方向に働きかけ、それがフィスコ企業調査レポートに反映されるというポジティブフィードバックを志向しており、今後も年に1回を目安に実施してまいります。



## News Release

### 【株式会社フィスコの概要】

会社名:株式会社フィスコ <https://www.fisco.co.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2482 号

加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会

所在地:東京都港区南青山五丁目 13 番 3 号

設立日:1995 年 5 月 15 日

資本金:10 百万円(2022 年 5 月 1 日現在)

代表者:代表取締役社長 狩野 仁志

事業内容:金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

以上